

ジャン・バニエの手紙

2009年5月 - トロリーにて

親愛なる友人の皆様へ、

春がやって来て私は嬉しく思っています。

鳥たちのさえずりを聴き、大地からの花の芽吹きを愛でるのが大好きです。

「花咲く谷」の家の修復作業が終わり、私たちはふたつの仮住まいの家を離れました。

日々の生活は普通に戻りつつあります。

リフォームされて大きくなった「花咲く谷」の家を祝福していただこうとギルバート神父に来ていただきました。

再び共にここに戻ることが出来て私は、嬉しく思っています。

私にとって生活は、より落ち着いてきており、体も健康で、早寝早起きをして、お昼ご飯のあとは、短いお昼寝をしています。

人生とはいいものです！

大きな多様性があるにもかかわらず、ラルシュにいる私たち皆をひとつにするという大変な働きをしてくれているジャン・クリストフやクリスティーヌと連絡を取り合うのは私の楽しみです。

ラルシュにいる私たちにとって国の規則や法律は、ときに難しいものだとは私は言わざるを得ません。給与計画やホームの基準、専門家の配置、等々です。

それらの法律は、時折、共同体としての生き方、アシスタントの深い動機付け、そして霊的生活を深めることの意義や霊性を駄目にしてしまうことがあります。

私たちのホームに来るコア・メンバー（障がい者）は、世界中の若者と同じように、独立することを望み、自分の計画を持っています。彼らの情緒的な生き方は映画やその他に影響を受けています。

しかし、すべてが否定的という訳ではありません。多くの新しい規則が人間の成長というもの肯定的にとらえています：各自の生き方に責任をもてるよう支え、本当にやりたいことを発見できるように助け、自ら選択し、計画を立て、自由意思を発揮するのを助けられるようにしています。

私たちのコーディネーター、——国際コーディネーターやゾーンコーディネーター、そして地区コーディネーターや共同体のリーダーたち——はみなすばらしい人たちです。それぞれに人間らしさを大切にすラルシュの精神を持ち続け、深め、そして広めるという課題に取り組んでいます。

はっきりしているのは、最終的にそれらすべてに対する責任は私たち一人ひとり、つまり長期のアシスタント、ラルシュのメンバー、そしてそばにいるすべての人たちの責任だということです。

重要なのは、いただいている祈りや喜びの霊を私たちがともに、十分に味わい、そして深めることなのです。

もっとも重要なのは、より人間的になり、恐れに支配されないように互いに支え合う時です。

それは開かれた心を持ち続けることであり、違いがあるとしても互いに愛し合い、互いに希望の源になり、生きていることを喜び祝う共同体を造り続けることです。

それはまた、神や福音書への信仰が、もっと愛するように、もっと与えるように、そして健全 —強く美しいこと、苦しみから逃げること、そして弱い人たちを切り捨てること— という名の暴君に屈服しないように、いかに私たちが支えてくれているのかを発見することです。

ラルシュや「信仰と光」のもっとも大きな価値は、弱い人たちが大切であるばかりでなく、社会や教会に対するメッセージを持っていることを示すことにあります。

もし私たちが彼らと真の信頼関係に入るならば、彼らは私たちを変え、キリスト者やいろいろな異なる宗教を信じる人たち、あるいは無宗教の人たちとの一致の源となるのです。

真に彼らは間違いなく預言者的な役割を持っています

ラルシュと「信仰と光」が、さらに深まり続け、そしてメッセージを広め続けるならば、私たちは壊れたこの私たちの世界に、人生そして希望の道のあることを体験するでしょう。

今の私の使命は、この関係を生きることであり、共同体にいる弱い人たちやもっとも傷つきやすい人たちによって私自身を変えていただくようにすること、そしてこの関係について、リトリートや講話で、お話しすることです。

福音書にあるイエスのビジョンについてお話しすることは、私の喜びです。

私はイスラエルとパレスチナへ行きました。ラルシュの視点から見えてくるヨハネ福音書のフィルムを14巻を制作するためです。

私は、ケミン ニウフ (Chemin Neuf) 共同体のオディール、バレリーそしてオリヴィエといっしょに出かけました。ケミン ニウフは、このフィルムでDVDを制作し、トロリーのラ・フェルメで販売しようとしているのです。ヨハネ福音書に関する私の話しや解説が、ラルシュや「信仰と光」に役立つことを期待しています。

エルサレムやガリラヤのシーンは、とても美しく、目や心の保養になります。

ケミン ニウフはまた、14巻の深い意味を説明する16の言語に翻訳された26分のDVDの制作と4つのDVDを紹介したいと望んでいます。それは、最初はフランス語だけですが、後に他の言語にも翻訳される予定です。

4枚のDVDの1番目は、7月に出来る予定です。残り3枚のDVDは、7月から2010年の1月の間に出来る予定です。これらの画面を紹介する「神の網」というDVDは、ラ・フェルメで注文を受けています。

(La Ferme de Trosly, B.P.21, 23 rue d'Orleans, 60350 Trosly-Breuil, France)

宗教を超えて、また宗派をこえて活動するという観点からしても、国からのいろいろな圧力からしても、ラルシュは非常に壊れやすく、傷つきやすいものです。

メディアがとてつもなく強大な影響力を持つこの世俗世界で訓練されてきたアシスタントたちは、ラルシュという愚かさに身を投じて、辛い時を過ごしています。

私たちは、しばしば拒絶されているハンディを持つ人たちのとうてい理解しきれないな神秘を生きています。しかし神は私たちを、愛と信頼のうちに包み込みながら見守ってくださっています。

私たちは、どうすれば彼らを預言的で平和の泉であると信じられるでしょうか。

どうすれば私たちは、ただ私たちの心に触れんがために十字架上で死ぬほどまでにご自分を弱くされる神を、そして愛が究極の言葉である世界へと私たちを導いてくださる神を信じていることができるでしょうか。

それこそ私たちの共同体によって告げ知らされているメッセージではありませんか。

最後にもうひとつ・・・

私はドイツのトリールでの集い (Katimavik) から帰って来たばかりです。ドイツのラルシュのメンバーや「信仰と光」共同体のメンバー、そしてルクセンブルグやベルギーそしてオランダの「信仰と光」の人たちのためのものでした。

とても素晴らしいお祝いでした。私たち全員のための福音でしたし、特に私たちの中にもっとも弱い人たちにとって福音でした。

祈りと愛のお祝いに150人参加しました。

私たちはベテランや新人たちと顔を合わせて、大喜びし、そして「信仰と光」とラルシュの深い一致を体験のです。

交わりのうちに

ジャン・パニエ